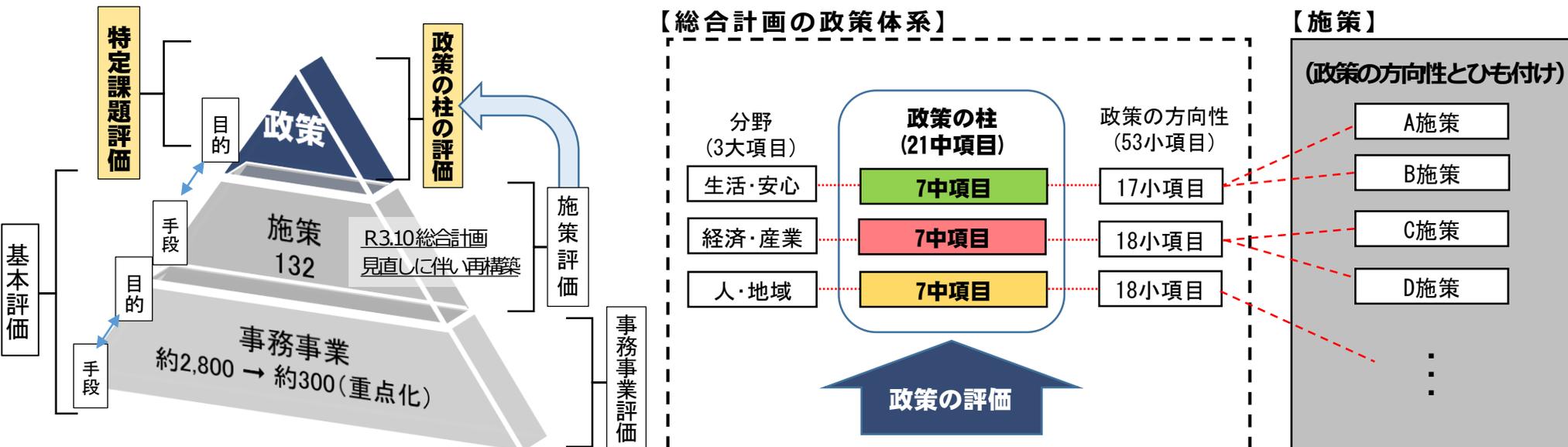


■ 特定課題評価の概要

- 令和3年度より、総合計画の進捗状況をより明確にし、評価の客観性及び透明性を向上する観点から、総合計画の政策展開の基本方向における「中項目（21の政策の柱）」の内、7つについて、施策評価を基に進捗状況を評価するとともに、政策評価委員（基本評価等専門委員）によるヒアリング等の調査審議を実施
- 令和3年度は基本評価で試行的に実施した「政策の柱の評価」について、令和4年度から特定課題評価として、毎年度、21中項目のうち7中項目を評価し、3力年で全ての「政策の柱」を評価
- 対象とする7中項目（及び関係する施策）については、基本評価等専門委員会の審議の対象
※「政策」の評価結果として公表するのは評価委員会の審議を経たもののみ

【参考～令和3年11月 政策評価の結果【施策評価 政策の柱の評価（全体意見）】】

- 政策（政策の柱）の推進状況と現状認識に乖離が見られることから、総合計画の見直しに合わせた施策推進体系を整備し、総合計画に掲げる政策の実現に向けた取組状況を明瞭化すること。
- 政策（政策の柱）及び施策の推進状況を明らかにするため、施策目標や事業の取組の進捗状況を表す適切な指標の設定及び社会経済情勢を踏まえた指標の目標値を設定すること。



■ 特定課題評価の実施について

1 評価の対象

政策の柱	担当委員	総務	総政	環生	保福	経済	農政	水林	建設	企業	教育	警察	施策数
安心で質の高い医療・福祉サービスの強化	村上愛委員				3				1				4
道民生活の安全の確保と安心の向上	武岡委員			5	1						1	1	8
	嘉藤委員				1		1	1					3
農林水産業の持続的な成長	石井委員						5						5
	渡部委員							4					4
	中津川委員							2					2
中小・小規模企業の振興や地域商業の活力再生	葛西委員					2			1				3
良質で安定的な雇用の場づくりと産業人材の育成・確保	水島委員					4							4
ふるさとの歴史・文化の発信と継承	大賀委員	1		3							1		5
連携・協働・交流による未来に向けた地域づくり	村上裕一委員	1	3										4

2 評価の方向性

- 評価の視点（目標の達成状況、連携状況等、緊急性・優先性）に基づき、総合計画の推進に資する評価を実施
- 社会経済情勢に鑑みて、今後必要とされる取組や方向性などを示せるように意見付与を実施

3 評価の実施方法

【評価実施の主なポイント】

- ① 基本評価から判定した進捗状況と道民の認識（成果指標以外の統計数値等による確認）
- ② 適切な指標の設定状況
- ③ 補強した指標と関連する取組内容の妥当性

① 評価前調書（PLAN）の確認（6月）

一次評価前の調書の委員事前確認（指標の設定状況等、指標設定の課題・問題点の整理）

② 事前質問の実施（9月上旬）

政策の柱調書作成(成果指標以外の統計数値等の抽出) → 委員への事前説明 → 事前質問回収 → 質問回答(各部局)

③ ヒアリング（必要に応じて現地調査等の実施）（9月中旬～下旬）

概要説明(3分) → 担当課から評価結果等の説明(10分) → 委員からの質問(45分) → 総括(2分)

④ 進捗状況の判定、意見付与（9月下旬）

- ・ 施策の取組状況、ヒアリング内容等を参考に、担当委員が政策目標の進捗状況を判定
- ・ 進捗状況の判定理由や今後に向けて必要となる取組など、必要な意見付与を行う

月	スケジュール
6	評価前調書（PLAN）の確認
7	基本評価委員会（実施要領など進め方）
8	（一次評価）
9	事前質問、ヒアリング、進捗状況の判定等
10	基本評価委員会（審議） 政策評価委員会（結果報告）
11	議会報告
	（12月～1月 次年度に向けた実施検討）
2	基本評価委員会

評価の手法と流れ

◇ 基本評価（施策評価）

- 各部署は「成果指標の達成状況等」と「取組の実績」により、施策及び事務事業を一体的に評価
- 成果指標等を重視した定量的な「指標分析」による評価とともに、変動する社会的ニーズや多様な主体との連携などの「取組分析」により評価

【指標分析】

判定	判定条件	点数
A	100%以上	4
B	90%以上100%未満	3
C	80%以上90%未満	2
D	80%未満	1
判定不可	指標なし	-

点數化 → 平均値

【総合評価】

- ・ 指標分析と取組分析の合計点数を計算
- ・ 合計点数により4段階で評価

総合評価	合計点数
順調	4.6以上
概ね順調	3.6以上～4.6未満
やや遅れている	2.1以上～3.6未満
遅れている	2.1未満
判定不可	-

一次評価の実施方針

- 達成状況や課題への対応
- 行政サービスの質の維持向上への対応
- 社会経済情勢の変化 + 道民の要請を踏まえた対応

評価の視点に沿った記述の徹底

補助指標や統計等を用いて、取組の実績・成果や対応方針を具体的に記載

【取組分析】

判定	判定条件	点数
連携状況	施策間や民間等との連携	0.5
緊急性・優先性	社会経済情勢や道民ニーズ	0.5

点數化 → 合計

◇ 特定課題評価（政策の柱の評価）

- 基本評価（施策評価）の一次評価結果を基に、各「政策の柱の評価」を算出
- 施策の取組状況、ヒアリング内容等を参考に、政策目標の進捗状況を判定し、今後に向けて必要となる取組など、意見付与を行う

基本評価の総合判定に基づき政策の柱の進捗状況を自動判定

基本評価		(政策の方向性)		(政策の柱)	
施策	総合判定	小項目	総合判定 ※自動計算	中項目	進捗状況 ※自動計算
0517	概ね順調 (4.50)	A	概ね順調 (4.00)	(7)	概ね順調 (4.50)
0518	やや遅れている (3.50)				
0519	順調 (5.00)	B	順調 (5.00)		
0520	順調 (5.00)				

平均値 → 平均値

担当委員のヒアリングを踏まえた進捗状況の判定、意見付与

委員ヒアリング (主なポイント)	進捗状況の補正	進捗状況の判定 意見付与
<ul style="list-style-type: none"> ➢ 基本評価により判定した進捗状況と道民の認識 ➢ 設定指標と取組内容の妥当性 	成果指標以外の統計値等で判断 加点 +1.0 減点 -1.0	順調に展開 概ね順調に展開 効果的な取組を検討 見直しや改善が必要

理由 付帯意見